

公民館だより

題字；前衛書家「吉川壽一」先生

平成25年12月15日発行【第337号】

発行元

吉崎公民館

福井県あわら市吉崎 8-34

郵便番号 922-0679

電話 0776(75)1205

komin-yoshizaki@city.awara.lg.jp



『落ち葉がいっぱいだ～、新年を迎えるために・・・』

毎年12月に実施している恒例の春日神社の清掃が、12月1日（日）区民総出で行われました。

朝の冷え込みが厳しい中、早朝8時よりベブラや竹ぼうきを持って集り、約1時間の清掃活動に汗を流しました。また、集めた落葉の廃棄には、有志の方から軽トラックの協力もあり、境内が見違えるほど綺麗に片付けました。

歴史ある「吉崎春日神社」。村社として、その歴史と伝統を守るにも、住民相互の理解と協力は欠かせません。そして、このような奉仕作業に参加する事で、住民相互のコミュニケーションの場にもなります。

高齢化と過疎化の進む「吉崎地区」。宗教行事とは捉えず、住民のためにある施設と考え、これからもご協力をお願いします。

早朝より参加くださいました皆様、ありがとうございます。

これで、清々しい気分で新年を迎えることができます。



1月11日（土）；消防出初式

『吉崎の魅力をおしえるぞあ！』



11月17日（日）、第31回地域づくり団体全国研修交流会福井大会の、あわら市分科会の一行30名が、「蓮如の里」吉崎を訪れました。

北は青森県から南は沖縄県まで、この地を初めて訪れた人ばかりでした。

自然に恵まれ、歴史と文化に育まれたこの吉崎の豊かな魅力をより深く知っていただけるように、「吉崎語り部の会」山本氏の案内で、国指定史跡「吉崎御坊跡」や御山からの自然景観、街の中を県境が存在する全国でも珍しい地域事情などを視察しました。

『報恩の響き』 舞踊&和太鼓公演

晴天に恵まれた11月16日（土）、吉崎御坊蓮如上人記念館にて「報恩の響き」舞踊&和太鼓の公演が行われました。

トモコダンスアートカンパニー（京都市）による舞踊、法悦の舞では、「天の岩戸」他2作品が表現豊かなダンスにより披露され、心響くメッセージ性の富んだ舞台は詰め掛けた大勢の観客を魅了しました。

みちのくを拠点に国内外で活躍する「希望の鼓」、新世代邦楽ユニット「閃雷（せんらい）」による和太鼓&笛&津軽三味線のステージでは、演奏を通じて「東北の被災した人たちに勇気や元気、希望などを与えたい」と被災地へ向けて発信、満席の観客で埋め尽くされた会場からは、終わることのない拍手が鳴り響きました。

また、あわら市民有志による「吉崎シャシャムシャ踊り」が披露され、最後の「みんなで踊ろう！！蓮如音頭」では、沢山の方に参加していただき、会場は大いに盛り上がりました。



『輪投げ台を目指して、一投を！！』



11月21日(木)、吉崎老人クラブの輪投げ大会が、吉崎公民館で行われました。

寒い日でしたが、高齢者の体力維持とクラブ員の親睦を目的に行われ、一投一投狙いを定めて慎重に投げる方、気合をこめて次々と投げる方など、皆さんそれぞれの投げ方で得点を競っていました。

高齢者の方々が気軽に参加できる競技ということもあり、参加者は和気あいあいとした雰囲気でも輪投げを楽しみました。

『劔岳そばに長い行列！！』

劔岳地区の秋の風物詩「かりんて祭」が11月23日(土)、劔岳公民館で開かれました。

秋の収穫を祝う感謝祭は、地元でとれた野菜や山菜の即売や手打ちそばの実演販売など、いろいろな催し物が目白押しです。

朝から青空の広がる好天にも恵まれ、大勢の方



が訪れ格安の野菜などを買い求めていました。

名物の「かりんて鍋」は、直径2.5メートルの大鍋に野菜や豚肉などをたっぷり入れて味噌仕立てで仕上げ来場者に無料で振舞われました。

そばの早食い競争や園児のステージ発表などもあり、県内外から多くの家族連れなどが訪れ「山里の秋」をこころゆくまで楽しんでいました。

【吉崎再発見】45 ～蓮如上人銅像物語④～



昭和23年（1948）6月28日、午後4時13分29秒、いまだ体験したことない大地震が福井県を中心に北陸から北近畿を襲いました。

この地震の震源は、東経136度13分、北緯36度10分（坂井市丸岡町付近）の地表から比較的浅い所で、マグニチュード7・1、震度7の都市直下型地震であったと報告されています。

このとき御山に建っていた蓮如上人の銅像は、倒れることなく全く無事でした。

この蓮如像は昭和5年3月、日本彫刻界の父と言われる高村光雲の作で、笠と数珠を持って高い台座に立ったまま安泰であったので「全く不思議なことだ！」と、いつも話題になりますが、西別院の離れ座敷からお庭を見てわかるように、この地域は噴出した火山岩で構成されており、固い基盤のおかげだと思われま

【今月のことば】「雨洗風磨」（うせんふうま）

「うせんふうま」と読みますが、書の漢語句では「あめにあらい、かぜにみがく」と読みます。

雨風にさらされながら、様々な状況の下で、時間をかけ。艱難辛苦（かんなんしんく）して修行すること、という意味だそうです。

また、雨に洗われ風に磨かれるように、人生の辛酸をなめ苦難に耐え、初めて立派な人物が出来るものであり、温室育ちや親の七光りでは、本当の人物は育たない・・・と解釈されている人もいます。

人間、生きてると、いろいろ辛い事に遭遇します。それ全てを修業と考え、自然の中で生かされている事を認め、自分の生きている意味を知る事こそが、自分の生きる道であると説いているのです。

新たな年を迎え、新たに目標を立てる方もいると思います。ふと過去を振り返り、辛かったが、いい時間を過ごせたと言えるよう、一つの区切りとして正月を迎えたいものです。

（挿絵；小坊主つばめ）



『第9回あわら観光写真コンテスト』作品募集!

賞

1 まつりの部

最優秀賞(1名) 賞金 1万円・トロフィー
 優秀賞(2名) 賞金 5千円・トロフィー

2 テーマ別部門(季節)

最優秀賞(1名) 賞金 1万円・トロフィー
 優秀賞(2名) 賞金 5千円・トロフィー

3 撮影会の部

最優秀賞(1名) 賞金 3万円・トロフィー
 優秀賞(5名) 盾

4 お気軽投稿の部

優秀賞(8名) 商品券 5,000円分



毎年行われている「観光写真コンテスト」。「まつりの部」には、吉崎蓮如忌の写真がいくつも応募されていますが、吉崎地区民の応募は少なく、地元ならではの作品を探しています。

今年4月のお着きの写真や、お立ちのの写真、GOBOU市等の写真をお持ちの方は、是非ご応募ください。

また、「テーマ別部門(季節)」や「お気楽投稿の部」への応募もOKです。

吉崎の知られざる魅力を、是非全国へ発信しましょう!

応募概要

【資格】自由

【規定】作品には応募票を添付すること。(コピーしてご利用ください。) 入賞作品の著作権は主催者に帰属する。作品は未発表のものに限る。

【締切日】平成26年1月31日(金)

【審査】平成26年2月中旬

【発表】福井新聞紙上及び本人に通知

【表彰式】平成26年3月上旬

【作品展】平成26年3月中旬～

【応募数】各部門3点以内

【作品返却について】

原則として、応募作品はお返しいたしません。

●入賞外の応募作品で、返却を希望される方は、あわら市観光協会まで受け取りに来てください。尚、郵送(宅配)にて返却を希望される場合、着払いにてお送りします。

●ご応募いただいた作品については、あわら市観光協会観光誘客のため各箇所に展示利用させていただきます。

平成25年度のパソコン実践教室終了

吉崎公民館主催で行われた「パソコン実践教室」は、11月28日で最終日となりました。12月17日には、「パソコン初心者教室」も終了となります。

6年間、のべ約150人の参加者に支えられながら行ってまいりましたが、来年度の開催は今のところ未定です。参加希望者が多い場合、また企画していきたいと思っておりますので、パソコン教室に参加希望の方は、公民館までご連絡ください。



The 時代 『吉崎御坊の建立』 吉崎の変遷を辿る

特別資料編

吉崎は、蓮如上人が浄土真宗を復興して4年3ヶ月の間、真実こめて布教したところで、江戸時代に始まった蓮如忌の吉崎道中も平成25年で340回目に達します。

今、吉崎道というのは、細呂木から吉崎までの昔の山通りと、昭和40年に自衛隊に開作してもらった湖畔通りの自動車道のことをいいますが、江戸時代の吉崎道は丸岡町北横地（坂井市）から旧金津町を通り細呂木の宿場を経て、のこぎり坂の下までの北陸街道と、それから吉崎へ行った山道のことでありました。

そして昔の吉崎道は、北横地にある道標でもわかるように、北横地から下関、金津を経て高塚を通り、千束・坂口・蓮ヶ浦の村の中を通っていました。



細呂木関所跡

細呂木の関所前では、必ず笠を取って会釈して、顔と荷物を調べてもらうことになっていました。

福井藩の関所は、越前と近江との国境の板取と、加越の国境の細呂木に設けてあったのです。

関所は日の出の時刻から日没までの間だけ門を開いて通行させ、関守が番をしていたのです。

吉崎にも加越国境に加賀藩と福井藩の番所があって、通行人と荷物を取り締まっていました。

徳川家康は関ヶ原の戦の後、慶長9年（1604）に将軍秀忠に命じて、東海道・東山道・北陸道の3道路に、

江戸の日本橋を起点とする一里塚を設けさせました。

一里塚というのは街道の両側に一里毎に塚を造って、その塚が崩れないように、根くばりをする榎を植えさせたもので、所によっては榎と松を植えさせました。

吉崎道の一里塚は次の所にありました。北横地—下関の七曲—金津千束—細呂木の4カ所です。

「よしざきみち」の道標も江戸時代に建てられたもので、笏谷石の角柱に「是より左よしざきみち」と書いてありました。

その場所は次の通りです。

北横地—金津水口—高塚の地蔵の前—細呂木のこぎり坂の下、ついでに吉崎道にあった地蔵堂を記して置きます。

また、北横地—旧金津町の水口—高塚—千束—蓮ヶ浦の村道の分岐点、細呂木のこぎり坂下—吉崎の一字—石墳などです。



千束一里塚

駐在さん、だぁ〜い好き！ -その18-

こんにちは、吉崎駐在所の宮越です。

平素は、警察業政各般にわたり多大なご理解・ご協力を賜り感謝申し上げます。

1. (緊急告知) あわら・加賀市内の国道305号沿いで、タイヤ盗が発生しています。

～不審者・不審車両の通報にご協力をお願いします～

あわら市及び加賀市内の国道305号線沿いで、アルミホイールを狙った窃盗事件が相次いで発生しており、警戒を強めているところです。

タイヤは、必ず鍵のかかる車庫や倉庫に片付け、家屋の敷地内であっても外から見える場所には絶対に置かないでください。見慣れないワゴン車が目撃されているという情報もありますが、確かな状況ではありません。これから、タイヤ交換の時期を控えていますので、タイヤ盗の被害に遭わないよう、ご注意をお願いします。



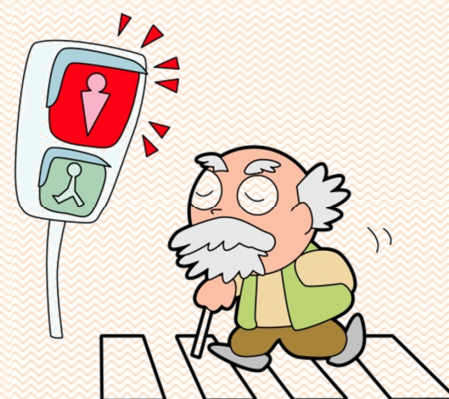
また、タイヤ盗に限らず、もしも不審な人物や不審な車両を見かけた場合は、ぜひ速やかな通報をお願い致します。特に、不審車両の場合、ナンバーを控えていただいでご連絡いただくと今後の犯罪捜査に大変参考となります。不審者の場合は本職宮越が現場で職務質問をいたします。

連絡先は、あわら警察署 宮越 (73-0110) までご一報ください。

2. 高齢者の交通死亡事故が大変増えています。

11月の中旬に、今年3回目となる「高齢者交通死亡事故多発警報」が発令となりました。(11/14から11/23まで) 本警報は10日間で高齢者の死亡事故が3件以上発生等すると発令されます。

これからは、年末年始の時期を控え、冬用タイヤ未装着によるスリップ等により重大事故が発生しやすい時期となります。最近、高齢者が高齢者を撥ねるいわゆる「高・高事故」も急増しています。



本職は警察官として、これまで悲惨な交通事故現場を多数見てきましたが、交通事故では、死亡事故により大切な家族を突如失い、また、重篤な生涯が長く残ることも少なくありません。自己の一瞬により人生が大きく変わってしまいます。明るく楽しい毎日のため、交通ルールを守り、命を預ける車をよく整備して、安全で円滑な自動車ライフを送るようお願いいたします。

【ふるさとクロスワード】

*答えの解った方は、公民館まで連絡して下さい。正解者には、年度末に素敵な賞品が当たる抽選券を差し上げます。

(×切は平成26年1月10日)

先月号の回答は「サイタマ」で、Cの「カントウ」でした。

今月の問題

パズルの中のAからCの3文字を並び替えて組み合わせ、ある食べ物にして下さい。その食べ物の種類は、下の3つのうちの何に当てはまるでしょう。

(A ; 貝類、B ; 果樹類、C ; 肉類)

1	6	7	9		12	15
2				B	13	
3			10		C	
		8			14	16
4				17		
				11		
5						
	A					

【よこのヒント】

- ① ; 蓮如上人のご詠歌で、浜坂の地名の出てくるものがあります。「浜坂の 山のあなたに打つ波も ○○法(のり)の音かな」というものです。○○に入る言葉は、何でしょうか?
- ② ; 他の地方の人がその土地に移って定着する事で、その国の国民になった人の事。大和朝廷時代、中国からの渡来人も多く、やがて○○として、学問や文化を広めて行きました。北陸地方には多くの○○が居て、蓮如さんの時代の文化水準も高かったと言われていす。
- ③ ; 雑草、雑木などの密生しているところ。竹○○などと云います。
- ④ ; 石切り場の事。
- ⑤ ; 吉崎と浜坂を結ぶ国道305号線にある橋は、○○橋。汐留橋と呼ばれることもあります。
- ⑧ ; 昔、夏によく見られた、蚊を防ぐために吊り下げて寝床をおおうもの。
- ⑩ ; お正月、退屈しのぎに「将棋たおし」を一人で遊んだことはありませんか?外国から伝わった○○を利用した「○○たおし」は、年末テレビの特番などで見る事ができますね。
- ⑪ ; 祭りの行列などを見物するために高く構えた床。劇場や大相撲などの見物席も、こう呼ばれています。
- ⑬ ; 子供をいやしんでいう称。「うるさい○○だ!」なんて言います。
- ⑭ ; 吉崎は6つの区で出来ています。その区長さんの代表者は、吉崎○○区長会長です。12月一杯で区長会長さんが変わられます。お疲れ様でした。

【たてのヒント】

- ① ; 西堀榮三郎(のち第一次南極観測越冬隊長)が、冬場の雪で足留めを食らった際に、退屈を紛らわせるために仲間たちと「山岳部の歌を作ろう」を話し合い、詩を書き、いとしのクレメンタイン(Oh My Darling, Clementine)というメロディーにのせて歌われた曲です。ダークダックスをはじめ、多くのコーラスグループに歌い継がれています。「雪よ岩よ~♪」
- ⑥ ; 和布無と書いて○○。○○らと呼ばれることもあります。ワカメなど海藻の根の俗称です。
- ⑦ ; 父・母の兄弟は、女ならおばさん。男なら○○さん。お正月になると、お年玉が楽しみです。
- ⑧ ; 「髪結いの亭主」とは、女房の○○暮らす夫の事です。
- ⑨ ; 吉崎地区でいう「左義長」のこと。小正月に行う火祭り、門松やしめ縄などを燃やしますよね。
- ⑫ ; 国指定史跡「吉崎御坊跡」にひっそりとその人の句碑があります。「うつむいた とこがうてなや すみれぐさ」を残した句人です。
- ⑮ ; 剣道の試合。「○○あり~!!!」気のゆるみ。
- ⑰ ; 「あいつKYだよな・・・」「そうそう○○が読めないんだよ・・・」
- ⑱ ; 正月休み、ハワイに旅行に行っていた友人の一言。「○○ほけで・・・」



おひらせ

12月22日(日)
新春1月4日(土)

吉崎青壮年団役員引継ぎ
芦原温泉新春舞踊(吉崎神楽出演)